

国際交流 NEWS

Vol.12 2024

行きました！

国際交流 NEWS 第 12 号

- 1 2024 年度 海外研修
- 2 2024 年度 受入れプログラム
- 3 2024 年度 個人留学・インターン

本年も、多くの健大生が海外で学び、体験、交流してきました。フレッシュな声をお届けします！

オーストラリア 8/24-9/9

夏休み中に、2 週間オーストラリアのシドニーへ語学研修に行ってきました。初めての海外で不安もありましたが、大学、現地の手厚いサポートのおかげで、多くの学びを得ることができました。特に印象に残っているのは、アーバンチャレンジです。「一般の人に花を渡す」という課題にグループでトライしたのですが、私たちが話しかけた人たちが快く協力してくれ、オーストラリアの人々の温かさを肌で感じることもできました。



すべてのがうまくいったわけではなく、目的地が見つからなかったり、英文を誤解して違う場所に行ってしまったこともありましたが、それも良い土産話です。今回の語学研修を通して、挑戦することの大切さを学びました。オーストラリアでの経験を活かして今後も様々なことに挑戦していきたいと思います。



医療情報学科 2 年 学生

フィンランド 9/6-16



社会福祉学科と健康栄養学科の計 3 名でフィンランド研修に参加しました。現地の大学での講義や、各国から集まった留学生たちとの交流、福祉施設の訪問に、本場のサウナ体験など、とても充実した 10 日間を過ごしました！湖水サウナ体験は、想像していた以上に自然を感じることができました。熱いサウナで汗をかいた後、大きくて冷たい湖に入り、最初水中に脚を入れた時には「冷たすぎる！」と驚いたけれど、サウナと

湖の往復を繰り返すと、湖水の冷たさにもだんだんと慣れていきました。サウナで汗をかきお腹を空かせた後の暖炉で焼いたソーセージは格別でした！フィンランドの文化を全身で体験し、忘れられない夏の思い出になりました！

社会福祉学科 3 年 学生



発行：国際交流センター 【Center of International Affairs】 2024. 12. 20

9 号館 1F tel/fax : 027-352-7006 e-mail : uhw-kokusai@takasaki-u. ac. jp

行きました!

アイルランド 9/10-19

薬学部3名がアイルランドのトリニティーカレッジにて研修しました。3年生の授業を3日間受講し、積極的に発言する学生の多さに刺激を受けました。薬局見学では、日本の薬剤師にはできない業務があることを知り、専門性が高く責任感のある仕事が求められていると感じました。アステラス製薬の工場見学では、製剤学の授業で習った機器や技術を実際に見ることができて、新たに知ることも多く理解が深まりました。健大に短期留学していた現地の学生とその友人の案内のもと、ダブリン城



などの多くの名所を訪問したり、抹茶バー、レストランでフィッシュアンドチップスを食べたりして、交流を楽しみました。滞在はホームステイだったのですが、優しいホストファミリーと毎日話すことがとても楽しく、最終日にはお礼の気持ちで日本の料理を作りました。初めての海外で、現地の方々の優しさに触れ、研修に参加して本当によかったと思いました!日本では経験できないことや、学べなかったことも多くありましたし、英語を聞き取れなかったり、上手く伝えられなかったりしたことがあったため、英語の勉強をもっと頑張ろうと思いました。

薬学科4年 学生

ドイツ 9/4-13

ドイツのミュンヘンで研修を行いました。ドイツで学ばれている理学療法士の技術や実際の病院、施設の様子を見学してきました。また、ドイツの文化もたくさん経験できました。研修先の Fresenius 大学に通う学生の自宅にホームステイをし、日本では体験することのできない日常や、食文化、ライフスタイルを経験することができました。実際の患者さんを招いて評価、治療を行ったり、馬に乗って治療を行うヒポセラピーを体験したりしたことは、とてもいい経験でした。また、教会やお城、お祭り、ビヤガーデン、湖など様々な場所を観光するこ



とができ、とても充実した9日間でした。この貴重な体験を、今後の生活や学びに生かしていきたいです。



理学療法学科3年 学生

行きました！

ドイツ 9/12-22

子ども教育学科 3 名で、ドイツ南西部に位置するプファルツ州にあるランダウ大学



で、研修を行いました。ドイツ人の学生と学校訪問、散策、プレゼンテーションをしたりしました。ドイツの学校訪問では、日本とドイツの教育の違いに衝撃を受けました。今まで当たり前と思っていたことが、そうではないのかもしれないと考えるきっかけになりました。また、ドイツ人学生には、たくさんの場所を紹介してもらいました。中でも、フランスに行ったことが1番記憶に残っています。フランスとドイツの国境を跨いで記念写真を撮ったり、エクレアを食べたりしました。普段体験できないことが体験でき、新鮮な毎日でした。今回の研修を終えて、他の国にも行ってみたいと思うようになりました。そこで自分がまだ知らない世界を見てみたいのです。



子ども教育学科 4年 学生

来ました！

ベトナム、タイ、インドネシアより学生受入れ 10/20-26

タイ、ベトナム、インドネシアの学生が健大にやって来ました！主に大学の特別講義に参加したり、日本の医療現場を



見学したりするプログラムでしたが、相互交流の場も多くありました。例えば、彼らにとって初めてのリンゴ狩りで、リンゴ畑での味見の他、お土産を一緒に探したり、フェアウエルパーティでお



互いにダンスをしたりしておおいに盛り上がりました。その他、私はホストファミリーとして2泊3日ベトナム人学生を受け入れました。スーパーでの買い物や、電車と一緒に乗ること、神社に行くこと、日本食を食べることなどなど、様々な日本らしさを感じてもらいました。この交流で私自身も異文化を味わうことができ、コミュニケーションをとる楽しさも存分に味わうことが出来ました。

子ども教育学科 1年 学生

個人留学しました！

マルタ

***ぐんま赤尾奨学財団より奨学金を得て留学しました。**

この夏、マルタで1カ月間語学留学をしました。語学学校には、年齢や国籍が異なる多くの人々が集まり、最初は不安もありましたが、皆フレンドリーで、自然と仲良くなることができました。放課後には、世界遺産の街バレッタや美しい海が広がるコミノ島を訪れたり、パーティに参加したりしました。日本では考えられないようなプールパーティや、各国の料理を楽しむタコスパーティも経験しました。私は肉じゃがやお好み焼きを振る舞い、特に肉じゃがが好評でした。英語を話す力については、語学力だけでなくコミュニケーション能力



が重要であると実感しました。クラスメートと日常会話を重ねる中で、自然と英語に慣れ、自分の意見を伝えることにも自信

がつかしました。また、日本人の「NO」と言えない文化について指摘され、自分の国の特徴に改めて気づく機会にもなりました。留学中にはイタリア旅行も楽しみ、観光や本場の料理を満喫しました。一人での留学は不安もありましたが、多くの交流と経験を通じて大きな成長を感じています。海外に興味がある方は、勇気を

出して挑戦してみてください。新しい世界が広がります！

子ども教育学科2年 学生



シンガポール

***現地日本本企業でのインターンシップに挑戦しました。**

9月1日から11月1日までシンガポールのインターンシップに参加し、日本の商品をシンガポールに拡大する事業についての仕事に携わりました。上司にあたる日本の方のミーティングで、書記をとったり、日本で生産された商品をスーパーに集積して、そこからデリバリーをアレンジして様々な飲食店にその商品を卸したり、フードジャパンなどのイベントにも参加させていただきました。ミーティングのメンバーはほとんど日本人でしたがデリバリーをしてくれる方は現地の方だったため英語でのやり取りで通じないことが多くあり、とても苦労しました。しかし通じないからと言ってすぐスマホに頼らないで何とかジェスチャーやフィーリングで伝えようと努めました。日本とシンガポールでは多くの文化の違いを肌で感じることができました。特に食事では、日本にはない、とても不思議な味付けを感じることもありましたが、個人的においしい！と感じることが多くありました。その他、イタリアンや、韓国料理、中華料理、インドネシア料理などのアジアの料理を積極的に見つけて、できるだけ日本食以外の食事をとることにしていました。インドネシアのナシレマという食べ物は、ワイルドな見た目をしている割においしかったです。またシンガポールの魚料理はとてもインパクトがあり、面白い料理だと感じました。再び海外に行ったら積極的に現地の料理を味わいたいです。



またシンガポールの魚料理はとてもインパクトがあり、面白い料理だと感じました。再び海外に行ったら積極的に現地の料理を味わいたいです。

生物生産学科3年 学生